

岩手県ドクターヘリの本格運航開始時期について

1 本格運航開始時期

平成 24 年 5 月 8 日（火）とする。

2 試験訓練運航について

本格運航の開始に先立ち、ドクターヘリ運航の流れ等を確認するため、県内 9 地域において、受入医療機関や消防機関等との連携のもと、試験訓練運航を実施する。

【訓練期間】 4/9（月）～5/7（月）（予備日含む） ※詳細は別紙参照

【訓練参加機関】 受入医療機関、消防機関、岩手医科大学、中日本航空(株)（運航会社）、県

【訓練の流れ（概要）】

- ①救急現場出勤（救急事案発生→ヘリ要請→出勤→着陸→患者への接触→ヘリへの患者搬入→離陸）
- ②医療機関への搬送（ヘリ離陸→医療機関側受入体制準備→着陸→患者引継ぎ→救急車で搬送→離陸）
- ③訓練講評、質疑応答等

（参考）ドクターヘリの運航概要

【基地病院】 岩手医科大学附属病院（盛岡市内丸）

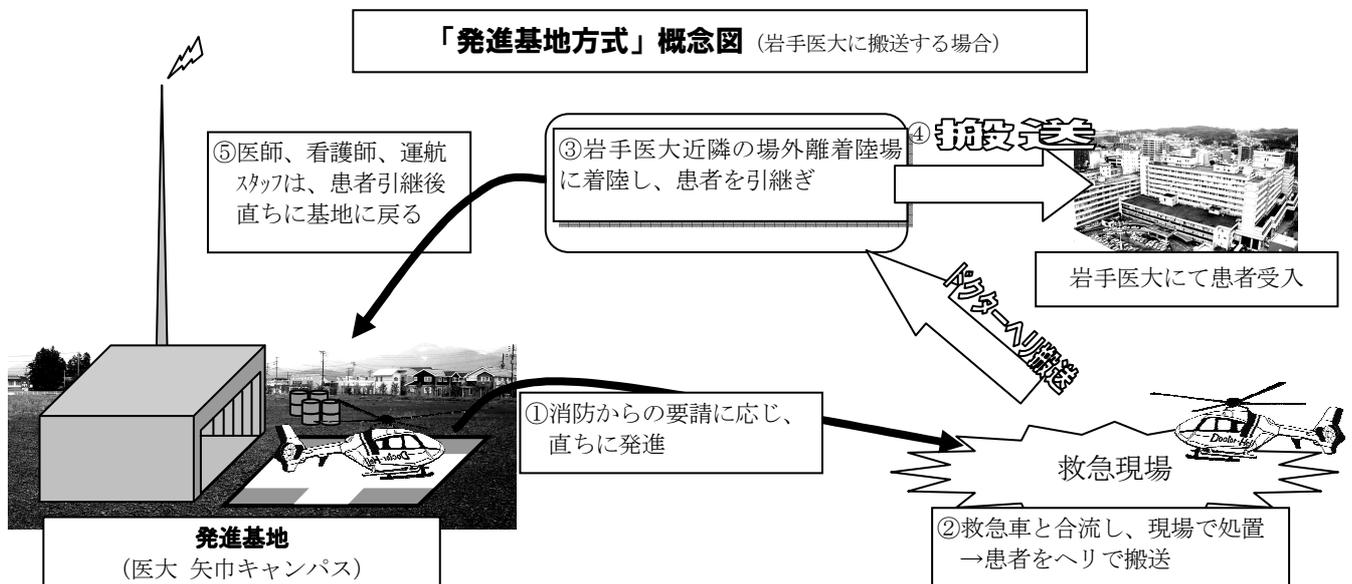
【運航システム】 「発進基地方式」

現在の岩手医科大学附属病院の敷地内及び近隣地域は市街地であり、格納庫や給油施設を備えたヘリポートの整備が困難であると見込まれるため、郊外に基地ヘリポートや関連施設（「発進基地」）を整備し、併せて、岩手医大附属病院の近隣に、ヘリが着陸し、救急車に患者の引継ぎを行う地点（場外離着陸場）を確保して運航する。

【基地ヘリポート整備地】 岩手医科大学矢巾キャンパス内（矢巾町藤沢）

【受入医療機関】（原則として下記医療機関から、搭乗医師が決定）

岩手医大附属病院、県立中央病院、盛岡赤十字病院、県立中部病院、県立胆沢病院、県立磐井病院、県立大船渡病院、県立釜石病院、県立宮古病院、県立久慈病院、県立二戸病院



【別紙】岩手県ドクターヘリ 試験訓練運航の実施について

1 訓練実施の目的

岩手県ドクターヘリの運航開始にあたり、医療、消防等の関係機関が相互に協力して試験訓練運航を実施することにより、安全かつ円滑な運航体制の確立に努める。

2 訓練実施地域・時期

(1) 実施地域 県内の医療圏（受入医療機関）単位で実施（計9回）

(2) 実施時期 平成24年4月9日（月）～5月7日（月）（予備日含む）

※天候状況等の事情により、訓練日時や場所の変更もありますので、確認をお願いします。

日時（開始時間は予定）	受入医療機関	ヘリ離着陸場所（予定）
4月9日（月）10:00	県立釜石病院	釜石市陸上競技場
4月10日（火）10:00	県立宮古病院	医療の村
4月13日（金）10:00	県立大船渡病院	大船渡市盛川河川敷
4月16日（月）14:00	県立中央病院 盛岡赤十字病院	盛岡東署屋上ヘリポート、国土交通省津志田地区河川防災ステーション
4月17日（火）10:00	県立胆沢病院	県立水沢高等学校グラウンド、前沢分署場外離着陸場
4月20日（金）14:00	県立磐井病院	県立磐井病院ヘリポート
4月23日（月）14:00	県立二戸病院	県立二戸病院ヘリポート、二戸空中消火基地
4月24日（火）10:00	県立久慈病院	久慈空中消火基地
4月27日（金）10:00	県立中部病院	県立中部病院ヘリポート

3 訓練参加機関

受入医療機関、消防本部、岩手医科大学、中日本航空株式会社（運航会社）、岩手県 等

4 訓練の流れ（概要） 下記の流れを基本とするが、詳細は医療機関及び消防本部との協議により決定

(1) 訓練第1部…救急現場出動の流れ

- ① 救急事案発生
- ② 現地消防機関からドクターヘリの出動要請
- ③ ドクターヘリが基地病院を離陸
- ④ 無線等を通じての状況把握・ランデブーポイント決定
- ⑤ 決定したランデブーポイントにドクターヘリ着陸
- ⑥ 救急車内で医師・看護師が傷病者に初期治療を開始
- ⑦ 傷病者を救急車からドクターヘリに搬入
- ⑧ 搬送先病院に向け、ドクターヘリ離陸（実際には離陸せず、訓練第1部終了）

(2) 訓練第2部…医療機関での患者受入の流れ

- ① 搭乗医師が患者の症状に基づき、搬送先医療機関を決定、連絡
- ② ヘリ着陸地点へ搬送先医療機関の受入要員、消防機関が出動
- ③ ドクターヘリがランデブーポイントを離陸
- ④ ヘリ着陸地点へドクターヘリが着陸
- ⑤ 搭乗医師から搬送先医療機関受入要員への患者引継ぎ、申し送り
- ⑥ ストレッチャーもしくは救急車で患者を搬送先医療機関へ収容
- ⑦ 基地ヘリポートへ向け、ドクターヘリ離陸（実際には離陸せず、訓練第2部終了）

(3) ドクターヘリの説明・訓練の講評・質疑応答等